

6月県議会

「肉付け予算」

いまは、人と予算を感染症対策に集中を

コロナ禍の前に計画した巨大事業が次々と具体化



討論する加藤英雄県議

千葉県議会が7月13日に閉会しました。知事選の関係で当初予算は、経常的経費を中心とした「骨格予算」(前知事編成)でした。今議会には政策的経費、新規事業など「肉付け予算」(熊谷知事編成・補正第8号)が提案されました。日本共産党は、コロナ第5波の危険が迫っているもと、医療提供体制の整備など感染症対策の予算には「異論はない」としつつ、コロナ禍前に計画していた不要不急な巨大事業が次々に具体化されているため、「コロナ対策を最優先に」と指摘し、反対しました。

エっ！コンテナ取扱量が4倍に？

いくらかかるか、わからない千葉港再編事業

千葉港千葉中央地区ふ頭再編の新規予算が計上されました。この事業は、千葉港長期構想(2017年)と、千葉港港湾計画に基づいて具体化されたものです。千葉港のコンテナヤード拡張のため、中央ふ頭の臨海部約27haを埋める計画で、今回は、その第一期分4haです。

長期構想では、コンテナ取扱量が20年後に3倍、35年後には4倍になるとの見通しですが、いまだに目標量の根拠も、総事業費も明らかにされていません。しかも葛南地区では、臨港道路(第二湾岸道路)建設も計画されています。

どこまで県民負担が膨らむか、不明な北千葉道路 土木事務所の交通安全施設整備は要望額をカット

昨年度、国交省は、北千葉道路を湾岸道路に接続する新規事業を採択しました。自動車専用部1.9km、一般部3.5kmで、全体事業費は1900億円程度とされています。しかし未整備区間は9km、まだほんの一部にすぎず、総事業費は、いったいいくらになるのか、県費負担は、どこまで膨らむのか、全体像はまったく明らかにされていません。

一方、県民の身近な通学路や生活道路を整備する土木事務所の交通安全施設整備に関わる予算は、今年度、要望額の83%しか予算化されていません。信号機の設置は、2013年度90基、昨年度は22基、今年度は15基へと激減です。



憲法がいきる明るい千葉県をつくる会の要請行動に参加しました(7/9県庁)

左：みわ由美県議、左2人目・加藤英雄県議

意見書・請願への態度(6月議会)	共産	自民	公明	立民
(○…賛成・採択 ×…反対・不採択)				
財務省公文書改ざん全容解明意見書	○	×	×	○
消費税5%引き下げを求める意見書	○	×	×	×
五輪・パラリンピック中止の意見書	○	×	×	×
子ども医療費助成拡充を求める請願	○	×	×	×
学校の女子トイレや個室トイレに返却不要の生理用品を設置する請願	○	×	×	×